

未来へ向けて堅実に歩み続ける

あけましておめでとございます。市民の皆様におかれましては希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、市民の皆様の温かいご支持により、4月に行われた市長選挙におきまして4期目の市政運営について負託をいただき、その責任の重大さを改めて痛感するとともに、暮らしの安全と安心の確保、地域産業の振興、賑わいと活力の創造の3つの柱のもと市政運営に取り組んでまいりました。

昭和29年4月の伊万里市の誕生から60年、人に例えると『還暦』を迎え、その節目の年を市民の皆様とともに祝うとともに、プロ野球ウエスタン・リーグ伊万里大会や、市民所蔵品展では『伊万里で生まれた製菓王「偉人 森永太郎」』の開催など、多くの記念事業に取り組みました。

また、小・中学校のすべてのクラスへの電子黒板の導入を進めるとともに二里小学校では2学期から新しい校舎での授業が始まるなど、未来を担う子どもたちの教育環境の整備に努めました。

このほか、黒川町七ツ島工業団地へのバイオマス発電企業の進出をはじめ、全国伝統工芸祭 in SAGAの開催や有田川浄水場の設備改修による『おいしい水プロジェクト』の推進、伊万里・有田消防組合の設置による消防の広域化など、伊万里市が新たなスタートを飾るにふさわしい事業の推進が図られた1年であったと思います。

平成27年は、国において、『まち・ひと・しごと創生本部』が創設され、国と地方が丸となった地方創生への取り組みが進められるなかで、伊万里湾地域の中核都市としての発展を礎に、次なる未来へ向けて、市民の皆様とともに堅実に『歩』を進めていく年にしたいと考えております。

特に、西九州自動車道を活用した地域の活性化と市民の皆様様の安全と安心の確保を中心に据え施策を展開していききたいと思います。

まず、待望の西九州自動車道の市内区間が、いよいよ唐津市から南波多谷口イ





平成27年 年頭のごあいさつ

伊万里市長 塚部 芳和

ンターチェンジまでと、山代久原インターチェンジから松浦市までの間で開通し、さらに、平成29年度には伊万里東インターチェンジ（仮称）まで延伸され、福岡都市圏や近隣都市との移動時間が大きく短縮されることから、伊万里焼や伊万里牛、伊万里梨などの伊万里ブランドの販路拡大をはじめ、福岡都市圏を中心とする観光戦略の展開により一層の交流人口の増加を図ってまいります。また、開通記念事業として、ハイウェイウォークや物産展をはじめ、福岡市内のホテルにおける本市観光のPRイベントなどを開催します。

原子力災害を想定した防災対策に関しましては、玄海原子力発電所の再稼働へ向けた準備が進められる中、原子力発電所に対する市民の皆様の安全と安心を確保するため、引き続き、原発の立地自治体並みの安全協定の締結と再稼働に関する配慮を電力会社と佐賀県へ強く求めてまいります。また、自然災害や原子力災害等が発生した場合に主要な情報伝達手段となる防災行政無線の整備をはじめ、避難経路となる国道や県道、市道の整備を促進してまいります。

このほか、県西部地区4市5町により整備を進めている広域ごみ処理施設に関しましては、広域連携によるごみ処理の適正化と効率化を図るため、12月の完成に向け着実に事業を推進します。また、農林水産物の生産から加工食品の製造や販売まで行う6次産業化に関しましては、専門のアドバイザーの支援を受けながら、新商品の開発や販売手法の研究などの取り組みを促進してまいります。

地域活性化の側面からも全国的に着目されている『ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）』に関しましては、市民の皆様はもとより市外からの寄附への特典として、1月から伊万里牛の製品を加えたところであり、本市ならではの事業の推進と特産品のPR機会としての活用の視点から、さらなる充実を図ってまいります。

このような事業の推進により、本市がめざす『活力あふれ ひとが輝く 安らぎのまち 伊万里』の実現に向け、全力を傾注する決意でありますので、市民の皆様のお一層のご協力を心からお願いいたします。